

第2回定例会

教育行政報告

平成29年6月

平成29年第2回定例会の開会にあたり、教育行政報告を申し上げます。

1 小中一貫教育の推進について

まず始めに、小中一貫教育の推進についてであります。3月3日に教職員ならびに市民対象の「教育を語る会」を実施し、先進地である広島県呉市立川尻中学校長の^{にみやはずみ}二宮肇美氏を講師にお招きし、具体的な取組について理解を深めたところであります。

年度当初には、教職員の人事異動があったことから、管理職への研修会や各学校での研修を行い、共通理解を図ったところであります。

また、家庭用のリーフレットも作成し、各校のPTA総会などで保護者の方々に説明し、周知を図ってきたところであります。

なお、平成29、30年度の2年間、東部中学校区において、北海道教育委員会から「小中一貫教育支援事業」の指定を受けたところであります。東部中学校に教員が1名増員配置され、外国語を中心とした教育課程の編成や指導方法の工夫改善に取り組むこととしております。

平成30年度の実施に向けて、現在、中学校区ごとに作成した進行管理表に基づき進めており、これらの取組につきましては、教育委員会のホームページに掲載しているところであります。

2 石狩管内教育実践表彰について

次に、石狩管内教育実践表彰についてであります。管内における学校教育・社会教育の充実振興を図ることを目的として、優れた実践活動に対し表彰されるものであり、このたび、西部地区生涯学習振興会が受賞され、3月24日に市役所において表彰式が行われたところであります。

西部地区生涯学習振興会につきましては、平成18年の設立以来、各地区の生涯学習振興会の先駆けとして、地域の生涯学習活動の推進やコミュニティの活性化に大きく貢献しているところであり、その功績が認められたものであります。

また、学校教育の分野におきまして、北広島西高等学校が地域と連携したキャリア教育の推進に努めていることに対しまして、同表彰を受けられたところであります。

3 特別支援教育支援員の配置について

次に、特別支援教育支援員の配置についてであります。特別な支援を必要とする子どもたちの教育的ニーズに対応し、支援するために、平成26年度から、全小学校に複数の支援員を配置したのをはじめ、平成27年、28年度には、順次、中学校への配置の拡大を行い、平成29年度は、小学校8校16名、中学校6校6名の全22名の支援員を配置したところであります。

全小中学校に配置したことにより、これまで以上に特別支援教育の充実が図られるものと考えているところであります。

4 平成29年度全国学力・学習状況調査について

次に、平成29年度全国学力・学習状況調査についてであります。4月18日に、小学6年生496名及び中学3年生538名が参加し、国語、算数・数学の学力及び学習状況調査を実施したところであります。

今後、調査結果の分析を行い、学校における児童生徒への教育指導の充実や、児童生徒個々の学習状況の改善に努めてまいりたいと考えております。

以上申し上げ、教育行政報告といたします。